

47都道府県の民藝的な現代デザインから、未来のものづくりのあるべき姿を探る

「LONG LIFE DESIGN 2 祈りのデザイン展」 d47 MUSEUMで2020/12/4 (金)-2021/2/8 (月) 開催

47都道府県をテーマにしたミュージアム・d47 MUSEUMでは、2020年12月4日(金)より2021年2月8日(月)まで、第27回企画展となる「LONG LIFE DESIGN 2 祈りのデザイン展 -47都道府県の民藝的な現代デザイン-」を開催します。

この「LONG LIFE DESIGN」展は、「時代や流行に左右されない、息の長いその土地らしいデザイン(=ロングライフデザイン)」をテーマに、20年間各地の個性を発掘・再発見し伝える活動を続けているD&DEPARTMENTが、2年毎に企画する、これからの未来のデザインを考える展覧会シリーズです。第1回は「健やかなデザイン」をキーワードに2018年に開催しました。

第2回となる今回のキーワードは「祈りのデザイン」。民藝運動とは、デザイン論である前に宗教的な美学です。「作為的ではなく」「祈りのような澄んだ心」で一点ものの芸術作品ではない「適度に量産された」ものに宿る「美しさ」。そうした本来の民藝運動にあることを感じられる、ものや食品、ランドスケープなどを47都道府県から一つずつ展示します。本展では、D&DEPARTMENT代表でディレクターのナガオカケンメイが、日本各地にある「どうしてか分からないけれど、心惹かれる適度に量産されているもの」を、民藝思想の中で柳宗悦が特に強調する「直観」で選出。47つを並べ、その理由を探っていきます。

会場では、本企画展の公式書籍や、出展者の関連商品を購入できるほか、会期中には、ナガオカケンメイが聞き手となり、様々なゲストを招き、本展のテーマを異なる切り口で紐解いていくトークイベントも行います。また、ミュージアムショップ内では、芹沢銈介、棟方志功、柚木沙弥郎などが手掛けた包装紙やお酒のラベルといったパッケージデザインを紹介し、関連品を販売する「民藝グラフィック」のコーナーも登場。多様な実例からこれからの民藝とデザインのあり方を考えるきっかけを与えていきます。



名称：LONG LIFE DESIGN 2 祈りのデザイン展 -47都道府県の民藝的な現代デザイン-

会期：2020年12月4日(金)～2021年2月8日(月) ※水曜定休、1/1休館

時間：12:00～20:00 (入場は閉館30分前まで) ※12/31は18:00閉館

会場：d47 MUSEUM (ディ ヨンナナ ミュージアム) 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8階

入場料：ドネーション形式 (会場受付)

ディレクション：ナガオカケンメイ (d47 MUSEUM館長/デザイン活動家/D&DEPARTMENTディレクター)

主催：D&DEPARTMENT PROJECT

問合せ：03-6427-2301 (d47)

URL：https://www.d-department.com/item/DD_EVENT_24263.html

- ・ 出展例 (写真左上より時計回りに) 三重県：内田鋼一の「鉄錆膳」、山形県：アカオニの「山の面々」、東京都：minä perhonen/ミナ ベルホネンの「エッグバッグ」、奈良県：エーヨンの「tumi-isi」
- ・ 事前予約制ではありませんが、館内の混雑状況によっては入場制限をさせていただく場合がございます。

メディア関係者様向け提供画像：<https://bit.ly/3kZf0MI> (ご使用の際はご一報いただきますようお願いいたします。)

— 本件に関するお問い合わせ — D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 03-6427-2301 / pr@d-department.jp

● 出展者一覧

北海道	点と線模様製作所	石川	辻和美	広島	マツダ
青森	弘前こぎん研究所	福井	山次製紙所	山口	大嶺酒造
岩手	釜定	山梨	勝沼醸造	徳島	BUAISOU
宮城	気仙沼ニッティング	長野	榊一市村酒造場	香川	讃岐かがり手まり保存会
秋田	小松クラフトスペース	岐阜	浅野商店	愛媛	瀬戸内造船家具
山形	アカオニ	静岡	日本スエーデン	高知	ロギール・アウテンボーガルト
福島	人気酒造	愛知	青柳総本家	福岡	杉工場
茨城	真壁石材協同組合	三重	内田鋼一	佐賀	佐賀市・佐賀バルーンフェスタ組織委員会
栃木	ニキシモ	滋賀	たねや		
群馬	笠盛・000 (トリプル・オウ)	京都	高木正勝	長崎	白山陶器
埼玉	森田千晶	大阪	graf	熊本	桂花拉麵
千葉	菅原工芸硝子	兵庫	mature ha.	大分	由布院玉の湯
東京	minä perhonen/ミナ ペルホネン	奈良	エーヨン	宮崎	渡邊酒造場
神奈川	studio fujino	和歌山	堀河屋野村	鹿児島	城山観光
新潟	Grand Pacific Work・三条市地域 おこし協力隊	鳥取	タルマーリー	沖縄	井口工房
		島根	手仕事フォーラム (もやい工芸)		
富山	五郎丸屋	岡山	倉敷本染手織研究所		



秋田：小松クラフトスペース

東京：minä perhonen/
ミナ ペルホネン

三重：内田鋼一



奈良：エーヨン



山口：大嶺酒造



沖縄：井口工房

photo by Yuji Yamazaki

● 開催予定のトークイベント

ナガオカケンメイが聞き手となり、さまざまな方をゲストにお招きして、トークイベントを行います。

- ・2020年12月18日(金) 18:30~20:00 ゲスト：松井健さん(東京大学名誉教授・民藝研究者)
- ・2021年1月8日(金) 18:30~20:00 ゲスト：林口砂里さん(とらみ民藝協会会員)
- ・2021年1月26日(火) 18:30~20:00 ゲスト：軸原ヨウスケさん・中村裕太さん(『アウト・オブ・民藝』共著者)
- ・2021年1月28日(木) 18:30~20:00 ゲスト：太田浩史さん(日本民藝協会常任理事)、林口砂里さん(とらみ民藝協会会員)

イベントの詳細やご予約の募集開始、追加開催については順次webサイトやSNSでお知らせしていきます。

● 「LONG LIFE DESIGN 2 祈りのデザイン展」公式書籍

デザイン論以前の「民藝運動」に立ち返るべく、今、注目したい「民藝的な現代デザイン」を47都道府県からピックアップ。その一つ一つに、本展の企画・構成を担当するナガオカケンメイがコメントを添えています。さらに「民藝」の内側・外側から、新しい視点で関わろうとしている方々(トークイベントのゲストとしてもお招きします：上記参照)に、ナガオカがインタビューした特別記事も掲載。これからの「デザイン」を考えるヒントが詰まった一冊です。

2020年12月4日(金)よりd47 MUSEUM館内にて、その後 D&DEPARTMENT各店およびネットショップにて順次先行販売します。

『LONG LIFE DESIGN 2 祈りのデザイン展』

全国発売 2021年1月/B5判変型 192頁予定/カラー/並製/本体(予価) 2,000円+税

全国の主要書店・ライフスタイルショップ・ミュージアムショップ・Amazon・D&DEPARTMENT 各店にて販売

● d47 MUSEUM (ディ ヨンナナ ミュージアム)

47の展示台を常設する“日本のものづくりの今”を知るデザインミュージアム。dはデザインのd、47は47都道府県の数。工芸、食、ファッション、自然環境など企画ごとにテーマを変え、日本の様々なデザインとクリエイションを紹介します。地域のキーパーソンを招いてのトークイベントや工芸品の実演、講演会やワークショップなど、展覧会と連動したイベントを開催し、来館者に作り手の想いを伝えます。併設のd47 design travel storeやd47食堂で展示関連商品を手に取り、味わうことで、立体的に日本の個性をプレゼンテーションし、各都道府県への関心を高め、その土地へ足を運ぶきっかけをつくります。 www.d47museum.com

●ごあいさつ

あのひとのためのデザイン

経済優先の社会では、憧れは人工的に作られ、身の丈に合わない、実際の生活とはかけ離れた絵にかいた理想のような暮らしを、様々な生活用品を揃えれば手に入るとされてきました。

戦後、高度経済成長から続く海外への憧れによって「デザイン」とはそれを意識し、それを追うもの、ことを指してきました。何もかも人口の多い大都市にエネルギーを使い集め、マスメディアによって消費を焚き付けられてきた私たちは、本当の「自分」や「暮らし」への実感もないまま、ここまで来ました。

そしてグローバル化、震災、コロナウィルスの感染拡大などにより、私たちは強制的ではありますが、手に入れたのです。「健やかな思想」を。

実感の持てる楽しく豊かな暮らしを。

徐々に熱を帯びる昨今の「民藝運動」への注目は、もちろん、そうした社会背景により私たちが求め、たどり着いたものと大いにリンクしています。思考が変わりはじめた私たちが呼び寄せたと言っても過言ではないと思うのです。

少し横道に逸れますが、哲学者であり民藝思想の生みの親である柳宗悦によるそれは、建築系メディアが生んだブームによって大きく誤解をされ今に至っています。

その誤解とは息子である柳宗理ブームによる「用の美」という紐付け。

本来は心の美しさをモノと紐づけて宗教的に感じる運動であったはずが、いつの間にか「機能性の高いものは、美しい」というプロダクトデザイン論にすり替わり、大切な「健やかさ」の部分がいつの間にか、埋もれて見えなくなっていました。

民藝運動とはデザイン論である前に、宗教的な美学。作り手の心が清く澄んでいることで、信じられないような美しいものが、美だけを意識して作為的に作られたものを超えて、素朴で美しく、思いやりに満ちて温かく丈夫。つまり「作為的ではなく」「祈るような澄んだ心」で一点ものの芸術作品ではなく「適度に量産された」ものに宿る「美しさ」。

そうした本来の民藝運動にあることと、私たち現代に生きる生活者が様々な日々の中に求め始めたものが一致し始めている。それがまさにこれから本格的にブームのように起こってくる民藝思想であり、私たちは会った事もないひとのためのモノづくりへの違和感を、よく分からない大量生産への思考を自然に捨て、何が健康的なのかを探しはじめています。

メーカーは架空の推定ターゲットにむけたモノづくりから、あのひとのためのモノづくりへ。

消費者と呼ばれてきた私たちは、生活者としてつながり続けられるモノづくりが、楽しく健やかな暮らしとセットであることに気づく。

「デザイン」は、一昔前のそうした前提から脱し、民藝ブームの力も借りて、意味を進化させ始めています。都会を離れ健やかにうまれたもので生活をしようとし始めている「それに気づいた」人々によって。

この企画展は47の日本各地にある「どうしてか分からないけれど、心惹かれる適度に量産されているもの」を、民藝思想の中で柳宗悦が特に強調する「直観」で選び、並べてみてから、その理由を探っていくものです。

メディアやSNSなどの情報を挟まず、「なんか、いいね」というものの中でも最上級に思ったものたちを並べて眺めながら、未来のものづくりのあるべき姿を見出し、そこにこそ「デザイン」と言う呼び名をつけようと願うものです。

日本はこれから自分たちらしさに基づいた文化大国へ進んでいくと思います。

それには、私たち日本人がこの国に暮らし、どういう思考でモノを作り、使うのか。

その底辺が変わりつつある今にあることに、意識を集中させるべきだと思うのです。

貧困問題などを抱えながらも、まだまだモノにすぎる私たち消費大国日本にとって、澄んだ心を取り戻すことこそが、私たちらしいモノづくりの第一歩になると願って。

d47 MUSEUM 館長

デザイン活動家

D&DEPARTMENTディレクター

ナガオカケンメイ

●D&DEPARTMENT PROJECT (ディアンドデパートメントプロジェクト)

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。

国内外に10店舗(北海道店、埼玉店、東京店、富山店、京都店、鹿児島店、沖縄店、韓国ソウル店、韓国チェジュ店、中国黄山店)を展開。47都道府県に1か所ずつ拠点をつくりながら、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしていきます。2012年、渋谷ヒカリエ8階に47都道府県の魅力を展示する日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。物販、飲食、出版、観光を通して、47の日本の“らしさ”を見直す活動を展開しています。 www.d-department.jp